

日本語教室でオンライン学習が行われています やらないよりは Online で。メリットもデメリットも

政木和生（日本語教室部会）

学習者は小学生です。大人と異なり生活に必要な日本語は学校生活の中でかなり学ぶことができます。むしろ学校では、特に国語の授業についていけるかどうか本人にとっては重要です。コロナウイルスの影響で学校は休校になり、授業の遅れを少しでも取り戻すため宿題は出されていますが、日本語が不十分な児童に十分なフォローがなされているとは言い難いのではないのでしょうか。

このようなことから、本当は教室が休止になった時点からやりたかったのですが、こんなに休止が長く続くとは考えていなかったのが、7月から実施することにしました。

当初は Line の動画通話を使用しました。現在は Skype を使用しています。小学校低学年

なので自分のスマホやパソコンは持っていません。そのため、母親のスマホを使用しています。

Online 教育のメリットは、時間をお互いに相談して自由に決めることができることと、教室までの移動時間及び費用が必要でなくなることです。一方デメリットは、日本語教室においては「書きながら教える」や「宿題を出して理解を確認」ということもできますが、方法論的、時間的に難しく、学習者への一方通行になりがちなことです。

概要は以上の通りですが、現状では全くできない状態よりは良いだろうということですが、早くに正常化することを望んでいます。